

カレンダー 8・9月

日	月	火	水	木	金	土
					8/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	9/1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

火～金 10:00～18:00
土・日 10:00～17:00

■休館日
○おはなし会 11:00から

新着図書から

▼SAMプロデュース Dream5とおどるはじめてのリズムダンスBOOK / SAM / 誠文堂新光社 ▼スズメの謎 / 三上修 / 誠文堂新光社 ▼はじめてネコBOOK / PetClinicアニホス / 主婦の友社 ▼池上彰のこれだけは知っておきたい! 消費税のしくみ 1・2・3 / 稲葉茂勝 / ポプラ社 ▼事前学習に役立つみんなの修学旅行 京都・沖縄・長崎・福岡・奈良・大阪・日光・鎌倉、東京 / 小峰書店



桂図書館・資料館 だより



☎029-289-4946

パソコン・携帯から蔵書検索・予約できます

PC <http://lib.town.shirosato.ibaraki.jp>

携帯 <http://lib.town.shirosato.ibaraki.jp/mobile/>



携帯用QRコード



「郷土の人が体験した戦争展」を開催します

太平洋戦争終戦から、この8月で69年が経ちます。城里町では、旧常北町から414名、旧桂村から353名、旧七会村から105名、計872名を戦没者に数えます。戦争は、これら戦没者をはじめ、その時代を生きたあらゆる人に、あまねく避けがたい影響を与え、それは、戦後においても続いています。

◆シベリア抑留生活11年

三村 節さん
(大正12年生。91歳)
旧岩船村出身、水戸市在住

三村さんは、水戸農学校卒業後、18歳で満州に渡り、昭和18年に関東軍独立守備歩兵隊第846部隊に入隊。翌昭和20年、中国大陸の前線で終戦を迎えましたが、日ソ中立条約を破棄して満州に侵攻したソ連軍によってシベリアの捕虜収容所に収容されました。厳しい気候と劣悪な生活環境の下での長期にわたる強制労働、そしていつ帰国できるともわからない先の見えない状況は、抑留された人々の心身を蝕み、多くの命を奪いました。

三村さんの抑留生活は、昭和31年日ソ国交回復により帰国するまで、11年間に及びました。

この度、郷土資料館では、郷土の人が体験した戦争を、資料や書籍を展示し、紹介いたします。



抑留時に収容所で使用した生活用品など

◆最後の雷撃隊員として 沖縄航空戦に参加

宮本 道治さん
(大正15年生。88歳)
石塚在住

宮本さんは、水戸工業学校から甲種第12期飛行予科練習生(予科練)航空隊に入隊しました。

大井海軍航空隊を経て、931海軍航空隊へ配属となり、最後の雷撃隊員として沖縄航空戦に参加。艦上攻撃機「天山」等で5回出撃し、海上に不時着して3時間漂流するなど、極限の戦闘状態から生還しましたが、宮本さんの予科練の同期生276名のうち79名が生きて帰ることはありませんでした。宮本さんはこうした体験を記録して5冊の著書を刊行しています。



戦争体験を綴った著書

本展では、お二人の資料や著書を中心に、当館所蔵の戦争関係資料を展示します。

〈展示期間〉

8月8日(金)から
9月9日(火)まで